

ウェルおおさか

vol.133 2021.8 隔月発行(偶数月1日)

特集

つながり、支え合うことができる 福祉コミュニティ

～第2期 大阪市地域福祉活動推進計画～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



つながり、支え合うことができる福祉コミュニティ

～第2期 大阪市地域福祉活動推進計画～

地域福祉の課題は、複雑化・多様化・深刻化しており、課題を解決するには多様な人たちの参画と協働がかかせません。国においては昨年、少子高齢化がもたらす、子育てや介護、地域で孤立している人々などの困り事や課題に対して、包括的な支援体制を整備するために、「地域づくり」「参加支援」「相談支援」を一体的に実施する新たな枠組みが創られました。

こうした社会情勢や政策の変化を踏まえながら、住民が主体となって地域の福祉課題を把握し、ともに暮らしを支え合う活動を継続し、さらに広げるための指針となるのが「地域福祉活動推進計画」です。今回は、推進計画の策定を機に、自分たちの地域について振り返り、これから求められるコミュニティのあり方について考えてみたいと思います。



さまざまな主体が協働で取り組む

「大阪市地域福祉活動推進計画」とは、市内の地域福祉を進めるために、地域住民、団体、社会福祉施設、NPO、企業、学校等のさまざまな主体が協働で取り組んでいくための目標や方向性をまとめたものです。その理念は、市が策定する「大阪市地域福祉基本計画」と共有しています。

計画を取りまとめるのは、地域福祉の推進役である大阪市社会福祉協議会（以下、市社協）ですが、あくまでも主体は地域住民です。したがって、策定にあたっては、常に住民主体の考え方であるかを確認し、専門家の指導・助言を受

けながら、多くの議論を経てつくられています。

予測できない未来さえ地域の力で乗り越える

地域では、これまで支援を必要とする人々への見守り、声かけや配食サービス、サロン活動など、地域に根ざした活動が行われ、区の社会福祉協議会（以下、区社協）は、その地域活動をサポートしてきました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、地域活動が誇る人と人とのふれあいが制限され、新たな手法や可能性を探らなければ継続できなくなりました。

また、住民のなかにも、感染の影響に

より生活が一変して、生活困窮におちいる人もいれば、家にいる時間が長くなることで、DVや児童虐待が大幅に増えたり、高齢者は体力減退や認知機能が低下するなど、新たな困りごとが生じた人も少なくないでしょう。未来は予測できず、誰もが支援を必要とする人になりうることを感じた1年だったのではないのでしょうか。

住民の意見をベースに具体的な実践を掲載

地域福祉は、限られた特別な人への支援ではありません。誰もが、何が起きても、どんな課題があっても、安心して暮らしていける、柔軟で強力なコミュニティづくりをめざしています。そのためには、一人でも多くの人たちが、困っている人の問題を、自分のこととして感じることが大切です。

今回の「第2期大阪市地域福祉活動推進計画（令和3年度～令和5年度）」では、そうした新たな社会の状況も踏まえ、区社協代表者、社会福祉事業を行う者などによって構成される推進委員会の意見を活かしつつ、地域福祉活動推進の方向性と実践方法をより具体的に示しています。

次ページからは、淀川区での地域福祉の取組みをみていきます。

第2期 大阪市地域福祉活動推進計画

基本理念 つながり・支え合うことができる福祉コミュニティをつくる

地域福祉活動の基本目標・方向性（＝提案内容）

地域における共生・人権尊重

場づくり・つながりづくりを絶やささない

見守りと生活支援・相談支援に取り組む

参画と協働による地域づくりを広げる

災害への備え

広域の実践

各区社協が実践する具体的項目

市社協として実践する具体的項目

支援

支援

第3章 地域福祉推進に向けた基本目標

第4章 市社協・区社協の取組み方針

人と人をつなぐ「ハブ」として 地域づくりに貢献したい

淀川区社会福祉協議会

大阪の縮図、淀川区

高層ビルが林立する新大阪、繁華街のある十三、大手企業から町工場、昔ながらの住宅から新興住宅地と変化に富む淀川区の町並みは、まさに、大阪の縮図。そこに18万人を超える人が住み、高齢化率は約23%。単身者やひとり親世帯も少なくありません。

地域活動も活発です。淀川区社会福祉協議会（以下、淀川区社協）地域支援担当の坂口千穂さんは「食事サービスやサロンのほか、地蔵盆、もちつきなど季節のイベントも充実しています。地域と区社協とは何でも言い合える関係が築かれていると自負しています」とのこと。

防災をテーマに井戸端会議

地域の困りごとのひとつに災害があります。水害が起きた時、淀川の北岸と神崎川の南岸に挟まれた地域は、陸の孤島になるかもしれません。さらに断層が走っているため、2018年、大阪府北部地震のときは、新御堂筋沿いのマンションが被害を受けました。

「特に高齢者のお宅では食器棚が倒れて元に戻せない、支給されたブルーシートの張り方が分からないなどの困りごとが続出し、防災に対する準備不足を痛感しました」

その後、地域からも防災について話し合う機会がほしいとの声があり淀川区社協では早速、その年の10月に井戸端会議「災害にも強い淀川」を開催。地域防災担当、地域活動者、包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、まちづくりセンター、民生委員、社協会長、タウン誌の編集者、河川レンジャーら、多彩なメンバーが集まり、意見交換

し、同時に、ブルーシートの張り方講習も実施しました。

会議での住民の意見から、災害ボランティアセンターを運営する人が地域には必要と判断し、井戸端会議の翌年には「運営ボランティア養成講座」を開催。カードを使って災害ボランティアセンターの運営をシミュレーションしました。

「様々な世代が参加し、15人が運営ボランティアに登録。中には、防災士の資格を持つ方もいらっしゃいました。社協会長、防災リーダーには、地域からの要望をどのように伝えれば、マッチングしやすいかを体験していただき、非常に有意義でした」

本年度は、運営ボランティア登録者のフォローアップの後、住民同士の学び合いやつながりづくりを強化するため、運営ボランティアを講師として、区民向けの災害ボランティア講座を開く予定です。

コロナ禍に新たな出会いが

淀川区社協では、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、日常生活の維持が困難になった子育て世帯を対象として令和2年から「こどもレスキュー事業」をスタート。食料などの物品支援、または制服の購入や家賃補助などの経済的支援のいずれかを支援しています。

この取り組みにより「初めて淀川区社協を訪れる人たちと出会うことができました。また、高校の生徒会や企業からも食料など



▲事務局長代理 吉田ひろみさん(左)、地域支援担当 坂口千穂さん(右)

の寄付を受け、支援の輪が広がっていくのを感じました」

また、子どもたちのSOSをキャッチするため、生理用品の寄付を受け、生理用品を買えない学生に無料配布する『サニタリードライブ』事業では、さらに「福祉教育の拡大、学生ボランティアの獲得を見据えて継続支援できたら」とのこと。

今後の展開について、事務局長代理の吉田ひろみさんにお聞きました。

「地域福祉活動推進計画という大きな柱にそいながらも、地域で今、求められていることをすぐにキャッチし、各担当に横串を刺し区社協全体として取り組んでいける事業展開をめざしています。まずは、潜在ニーズと担い手を獲得するため、仕掛けることを続けながら、ネットワークを拡げていきたいですね」

DATA

淀川区社会福祉協議会
大阪市淀川区三国本町2-14-3
☎06-6394-2900
FAX06-6394-2978



▲思いをつなぐフードバンク

住民の声を反映させ、 3年先を見据えた計画

大阪市社会福祉協議会

関心はあるが 行動につながらない

地域福祉に対する市民の意識について市が行った実態調査(令和元年)では、住民同士の支え合いやつながりの希薄化、災害時の不安を感じつつも、地域で助け合う関係や自ら行動までには至っていないことが明らかになりました。

一方で、子どもの登下校の見守り、暮らしの身近な場所での集まりの場(食事会やサロン活動)での見守り、民生委員・児童委員による個別訪問など、さまざまな形で継続している見守り活動が基盤となり、そのネットワークを活かし、台風や豪雨の被害を受けたときもいち早く安否確認ができたこともわかりました。

「災害やコロナ自粛の間に、つながりの大切さを改めて感じられている方が多いですね。例えば、配食サービスとしてお弁当を届けるだけでも喜んでもらえ、それが活動者のモチベーションにつながっています。調査では、多くの方がつながりを作る必要性は感じていたという結果であったので、思いが行動につながるように支援できればと思っています」と地域福祉課副主幹の巽俊朗さん。

コロナ禍の学びを反映

第2期の計画では、第1期の計画の重点目標「担い手を拡げる」「居場所を拡げる」「見守りを拡げる」を継承したうえで、3つの基本目標を掲げています。

- ①場づくり・つながりを絶やささない
- ②見守りと生活支援・相談支援に取り組む

③参画と協働による地域づくりを拡げる

これらは単独ではなく、見守りや相談支援の対象となる人がつながりづくりの場に参加するなど、相互に関係し、循環しながら進めています。推進にあたっては地域で暮らす一人ひとりが多様性を認め合う「地域における共生・人権尊重」、誰もが関連する「災害への備え」の視点を大切にしています。

また、第2期計画では、新型コロナウイルス感染症の影響で、顔を合わせてふれあう活動が制限されるような状況のなかで地域福祉をどう進めるかを念頭におき、今後予測されることについても目を向けています。

市社協と区社協が より密接に

市社協は、常に住民主体を意識しながら24区社協を支援する役割があります。区社協支援の一環として、現場の実践や研修に役立つ地域福祉の手法や視点をまとめたツール『地域支援の参考書』を作成するなど、市・区社協が共に協力しながら地域福祉を推進していきます。



▲地域福祉課長 堀江幸代さん

地域福祉課長の堀江幸代さんは、第2期計画にかける思いを次のように語ります。

「市全体の状況を各区に知らせたり、24区それぞれの取り組みのプロセスをタイムリーに共有したり、スケールメリットを生かした方法で、各区が刺激し合い、全体として地域福祉活動を盛りあげていければと思います。同時に、全区で地域アセスメントデータを整備・活用しながら、支援に必要なそれぞれの地域情報を把握・分析していきたいですね」

自分なら何ができるか

最後に堀江さんより住民のみなさんへのメッセージ。

「福祉の分野に限らず、自分が住むまちや暮らしをどうしていくか、自分なら何ができるかという視点で考えてもらえたらと思います。すでに活動をされている人にとっては、推進計画が自己点検や今後の活動を考えるきっかけになればうれしいですね。私たちも、みなさんの声にしっかりと耳を傾け、よりよい方向へ舵取りをしながら、全力で支援していきたいと思っています」

DATA

大阪市社会福祉協議会
地域福祉課

大阪市天王寺区東高津町12-10
市立社会福祉センター内

☎06-6765-5606

☎06-6765-5607

”わたしたち”とわたしの関係を ゆたかにしていきましょう

武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授 松端 克文さん



主体は市民

「大阪市地域福祉活動推進計画」は、市民が、市民の立場で、自らの声を反映させながら、どのように福祉活動を進めていくのかをまとめたものです。在勤、在学、在活動者も含め活動の主体は、市民です。地域福祉では、市民一人ひとりが身近に起きている困りごとや生活のしづらさを「わたしたちの問題」ととらえ、支え合いながら進めていく必要があります。

異質なもの同士の橋渡し

大阪は、大都市でありながら「地縁型」の福祉活動が活発です。地縁型の他には、テーマでつながる「テーマ型」の活動があります。いずれも、人口が減少し、社会が高齢化していくなかで、活動の担い手が不足しています。多様化・深刻化する現代の課題を解決し、地域福祉を推し進めるには、新たな担い手を得ることが、重要な課題となっています。

地域のつながりのことを「ソーシャル・キャピタル」といいますが、これには「ボンディング型」と「ブリッジング型」があります。「ボンディング型」は、内に向かい、同質性が高いのが特徴で、地縁型の活動が当てはまります。結束力が強い分、仲間を増やしにくくなる一面があります。「ブリッジング型」は、外に開かれていて、異質なもの同士の橋渡しをしながら、ゆるやかにつながっていきます。これからの活動は、いかに「ブリッジング型」のつながりを増やしていくかが鍵だといえるでしょう。

社会情勢が追い風になる

担い手不足が課題になる一方で、多様な主体を確保するのに、今の時代は

追い風ともいえます。働き方改革やコロナ禍の在宅ワークなど、働き方の変化が現役世代に自由な時間をもたらします。空いた時間に少しでもボランティアができるようなしくみが整えば、ネットワークをゆるやかに広げていけるかもしれません。

さらに「誰一人取り残されない」持続可能な社会の実現をめざすSDGsの活動も、地域福祉の推進と不可分の関係です。さまざまな課題を国連や政府だけではなく、個人や組織や団体がそれぞれのスタンスで社会貢献を進めようとする動きは、地域福祉の推進を後押しすることになるでしょう。また、社会福祉施設が、施設内に困窮相談の窓口を設けたり、買い物で困っている人のために「買物ツアー」を行ったりするなど、地域の課題解決に積極的に関与している事例がみられます。学生も最初は「就活に有利」といった理由で構わないので、巻き込むのがいいでしょう。金銭ではない見返りが本人の成長につながるはずです。

活動者が「面白い」と感じるのが大切です。面白がって活動している人たちの中に入れば、それが伝染し、魅力の発信にもつながります。活動者がより楽しく頑張れるように支援し、ゆるやかな人の輪をひろげていくのは、社会福祉協議会（以下、社協）の役割だといえます。

「断らない支援」を本気で

2020年の社会福祉法改正では、複合的な課題や狭間のニーズに対応するために、分野別でなく属性を問わず広く住民を対象とした重層的支援体制整備事業が創設されました。市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築す

ることをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須としています。

「断らない相談支援」を実践することは難しいのですが、解決の見取り図を一緒に考えることはできるはず。生活支援体制整備事業として各区に配置されている生活支援コーディネーターの役割も重要です。社協は、住民の困りごとに寄り添って「断らない」を本気で実践することが求められます。

”わたしたち”づくり

みなさんが、「わたしたち」といえる関係にはどんなものがありますか？幼なじみ、学生時代の友達、職場の同僚、趣味の仲間などいろいろな集合体があると思います。そうした「わたしたち」といえる集合体がつくりづらく、「わたし」の関係がいま、貧弱になっています。「つながりの希薄化」とはそういうことです。

たとえばもし、同じ職業同士や、同じ課題を持っている人同士が、横につながり組織化できれば、社会に声を上げることができます。一人で取り組むよりも、「わたしたち」で力を合わせたほうが断然強いといえます。そうした「わたしたち」こそが「コミュニティ」なのです。

“わたしたち”の地域だということが実感できれば、自治的に物事を考えて行動する住民が増え、課題の解決に向けた取り組みができるかもしれません。その舵取りやサポートを行う社協の役割は、これからさらに重要になるでしょう。

大阪市のモデル事業 ● 「介護の職場 担い手創出事業」

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは、介護施設で部屋の掃除、食事の片付け等、直接介助に携わらない業務を担う“介護現場の新たな人材”です。

今年度は、アドバイザーによる個別支援と集合研修を組み合わせて取り組みを行っています。

集合研修では、まず、アシスタントワーカー導入の目的の明確化と体制づくり、導入目的を施設全体に伝えることの重要性について、また、アシスタントワーカーが担当する業務の洗い出しや、業務スケジュールの設計等、作成のポイントについての講義があり、研修に基づき各施設は作業を行っています。

業務洗い出し等の作業が進むと、次は、業務マニュアルの作成にうつります。各施設においては、作業手順を示したものを作成していますが、アシスタントワーカー導入にあたっては、業務を詳しく整理したマニュアルを作成していく必要があります。



今回のモデル事業をきっかけに、アシスタントワーカーの業務マニュアルに限らず、マニュアル化が必要だと感じられる業務についても、マニュアルの作成が進められていくことが期待されます。

研修の講義では、業務マニュアル作成のポイントとして、①利用目的を明確にすること、②利用シーンからサイズや形状に配慮すること、③わかるマニュアルにすること、④探せるマニュアルにすること、⑤更新できるマニュアルにすること、⑥マニュアルの限界を見極めること、と整理され、現在、アシスタントワーカーの担当する周辺業務に活用できるマニュアルの作成を進めています。

各施設の求めるアシスタントワーカー像は、「早朝(7:00～)に勤務できる人」「夕方(17:00～)に勤務できる人」や、「掃除、洗い物が得意な人」「調理が得意な人」、「将来的には介護職を希望する人」など様々で、近々採用の募集も始まります。

アドバイザー紹介

エデュケーション・パートナーズ
代表 秋満 直人
福祉職員キャリアパス対応生涯研修
課程指導者
特定非営利活動法人 鳳雛塾 理事
経営学修士(MBA) / QCサークル指導士
2002年からマネジメントコンサルタントとして医療・福祉系を中心とした研修・セミナー・コンサルティングなどに幅広く活躍。現在は全国の医療・福祉施設や一般企業を中心に研修・コンサルティングを担当。



アシスタントワーカー募集説明会＆「カラーコミュニケーション講座」要申込

日時／9月6日(月)
①10:30～12:00 ②13:30～15:00
会場／大阪市立住之江会館 大会議室

日時／9月13日(月)
①10:30～12:00 ②13:30～15:00
会場／大阪市立生野区民センター 会議室

内容／①アシスタントワーカー・施設説明＆質疑応答
②講座「カラーコミュニケーションを活かした子どものほめ方、かかわり方(仮)」
問合せ／大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201
興味、関心のある方は、当センターのホームページをご覧ください。

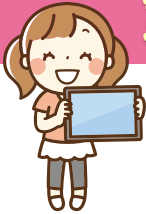


HP <https://www.wel-osaka.com/AssistantWorker/>



第15回小児医療センター講演会

WEB開催



VDTとこどもの健康

デジタル端末画面

- 「小児眼科の立場から」……………小児眼科医長 谷原 佑子
- 「小児代謝・内分泌内科の立場から」……………小児代謝・内分泌内科医長 樋口 真司
- 「VDTによって守られた、子どもたちの笑顔と心の健康」……………医療ソーシャルワーカー 大濱 江美子

視聴日時／8月20日(金) 12:00～9月2日(木) 12:00

- 視聴方法／①病院のホームページへアクセス [大阪市立総合医療センター](#) [検索](#)
- ②右側のQRコードからアクセス
- ③右記視聴用URLを直接入力でも可能です <http://onl.tw/qDdEWP8>

★市民の皆さまに向けた講演です。ふるってご視聴下さい

問合せ／大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター ☎06-6929-1221 (代表)



福祉・介護専門職の キャリアアップをサポート！



福祉・介護職員の キャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

定価 600円(税込)

これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて
保存できます！

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています



(内容)

- A4判・リングファイル ● 人生カレンダー
- キャリアデザインシート(ワークシート編)2ページ
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9ページ
- ビニールファイル4枚

発行者：大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター

問合せ・申込み先：☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272
✉kensyu@shakyo-osaka.jp



講座案内

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 研修中は常に換気を行うこと
 - 参加者間の距離を1メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
 - 演者等と聴衆との距離を1メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
 - マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
 - 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること
 - 受講者全員に、「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること
- ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。
ご理解いただきますようお願いいたします。

● 市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名	日時	受講決定	講師	内容	その他
【介護実習講座】 介護実習講座 入門コース	①水曜日コース 9月8・15・22日 10:00～12:00 ②土曜日コース 10月2・9・16日 13:30～15:30	開講日の約1週間前に受講証をお送りします	専門学校講師、介護福祉士など	初めて介護をされる方に、家庭での介護の知識や技術を体験いただき、介護への関心や理解を深めるコースです。 【テーマ】 ①移動、車いすの使い方 ②食事介助・衣服交換 ③清潔介護	定員:各テーマ 20人(先着順) 希望される方は、 お問合せください 受講料:500円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます

● 福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
【メンタルヘルズ研修】 一般職員対象	9月16日(木) 14:30～16:00 ※東成区民センターで開催	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に従事する方	大阪市立大学 大学院医学研究科 神経精神医学 講師 出口 裕彦	メンタル不調のメカニズムを理解し、良好な人間関係を保持しながら、業務を遂行する知識や技術を学び、バーンアウト(燃え尽き症候群)を防ぎます。	定員:50人 締切:8月23日(月) 受講料:1,500円
【心のケアシステム研修】 主任・ リーダー職員対象	9月14日(火) 10:00～16:30	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に従事する方	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人	リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない環境づくりを学びます。	定員:36人 締切:8月20日(金) 受講料:3,000円
【地域課題の発見と解決に向けて】 多職種連携地域協働 社会福祉施設 職員の地域福祉 実践講座 (オンライン)	10月22日(金) 13:30～16:30 2月15日(火) 10:00～17:00 ※講義については事前に動画で学習します。	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に従事する方	大阪教育大学 特任教授 新崎 国広	社会福祉施設職員の日々の実践を地域福祉という観点から振り返り、その実践が豊かになるような具体的手法について、講師と受講者が共に考え、学び、ゼミナール形式の講座です。	定員:15人 締切:9月6日(月) 受講料:6,000円
【障がい福祉関係研修】 精神障がいのある人と家族への 支援実践講座	9月1日(水) 9月9日(木) 9月22日(水) 9月29日(水) 13:30～16:30	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に従事し、4日間参加できる方	大阪市立大学 助教 清水 由香	高齢者を中心に支援している福祉援助職が、精神障がいのある人とその家族の支援をしていくうえで必要なストレス視点に基づく基礎理論と技術を学びます。	定員:24人 締切:8月16日(月) 受講料:6,000円
【福祉人材確保支援研修】 求人力・広報力 向上研修	8月26日(木) 13:30～16:30	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に従事する方	大阪城南女子短期大学 人間福祉学科学科長 教授 前田 崇博	「求人広告を出しても応募がない!」「魅力をしっかり発信をできているだろうか?」という悩みを抱えていますか? 新型コロナウイルス感染症による求人活動への影響についても学べます!	定員:30人(先着順) 締切:8月15日(日) 受講料:無料
【介護職員研修】 介護職援助の 技術編 「アクティビティ」	9月10日(金) 10:00～16:00	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所で高齢者等の介護に従事する方	特定非営利活動法人 キャンピズ 代表理事 桃山学院大学 兼任講師 水流 寛二	介護職員に求められる援助技術の基本を学び、レクリエーション技術を含むアクティビティを通じた、QOLの向上方法を学びます。	定員:30人 締切:8月20日(金) 受講料:3,000円

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

● 福祉従事者向け研修の申込み方法▶ 当センターのホームページから申込みか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

『「ほんとのこと」は親にはいえない （子どもの言葉を生み出す対話）』

木村 泰子 著
家の光協会 2021年

ほめる、しかるを「問いかけ」に変える。45年間教育の現場でたくさん子どもたちと対話を重ねてきた木村先生による、親と子のコミュニケーション論。「いつも怒ってしまう」、「反抗的な子の態度に、どう接すればいいかわからない」など、子どもとの関係に悩む大人に読んでほしい一冊。



『対人援助職のためのアセスメント入門講義 ソーシャルワーカー・心理師必携』

スーザン・スーカス 著
金剛出版 2021年

「成人・家族・子ども・カップルの初回面接の進め方から、成育歴の聴き取り方、自傷他害のリスクアセスメント、虐待のアセスメント、心理検査の使いどころ、アセスメント結果の書き方まで、アセスメントの考え方や進め方をていねいに解説。」



『DV・性暴力被害者を支えるための はじめてのSNS相談』

社会的包摂サポートセンター ほか 編
明石書店 2021年

DV・性暴力被害の当事者は、SNSのなかにいる。コロナ禍でいっそう高まるSNS相談のニーズに応えるために、ノウハウやデータ、民間シェルターが蓄積してきた深いスキルも盛り込み、被害者を支えるために不可欠なエッセンスを集めた。



『ろうの両親から生まれたばかりが聴こえる世界と 聴こえない世界を歩き来して考えた30のこと』

五十嵐 大 著 幻冬舎 2021年

聴こえない親と聴こえる子どもとの間に、どんな出来事が起きうるのか。耳の聴こえない親に育てられた子どもである著者が、母との格闘の日々を綴る。感涙の実録ノンフィクション!



DVD紹介

『いのちと防災を考える ゆめ風 中学生プロジェクト』

BBB 22分 2019年

ゆめ風中学生プロジェクトは、阪神・淡路大震災の体験をもとに発足した自然災害から障がい者を支援するNPO法人「ゆめ風基金」によって企画。「もし、災害が昼間に起きたら頼りになるのは誰か?」を考えたとき、地域にいて、地域を知り、判断力と体力をもっているのは中学生。そこで、地域の障がい者と中学生が「いのちと防災を考える」をテーマに取り組みを始めた様子をまとめています。



『黒田留美子式高齢者ソフト食 動画でわかる基本レシピ11品』

シルバーチャンネル 69分 2020年

「黒田留美子式高齢者ソフト食」は、しっかりとした形があり、見た目に美味しそうでありながら、舌で押しつぶすことができ、誤嚥しにくく安全に食べることができる食事を紹介。基本レシピ11品を動画で解説。作りやすい1品から作ってみてください。



『ミッケルアート 4 駄菓子屋』 30分

『ミッケルアート 5 井戸端会議』 29分

BBB 2020年

「ミッケルアート 映像版」は、認知症予防効果に期待が持てるミッケルアート®に、懐かしさを感じる効果音やナレーションによる問いかけを入れたものです。介護者の負担減を重視して製作しており、見る方がお一人でも楽しめる。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約27種類

開室時間／月曜日～土曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう!

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄る生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう!



対象者	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上の方 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
実施場所	①府内取扱医療機関 ②各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場
検査内容 (基本的な項目)	身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・ 血糖・腎機能)・尿検査
費用	無料
必要な物	「受診券」「国民健康保険被保険者証(保険証)」「個人票」

※受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区の保険年金業務担当(保険年金:保険)にお問い合わせください。
※75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

受診を控えているみなさまへ

自覚症状が現れにくい病気は少なくありません。だからこそ、定期的な「けんしん」で健康状態をしっかりチェックすることが大切です。医療機関や健診会場等では換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルスの感染予防対策に努めています。

持病がある等、感染への不安がある方は、かかりつけ医にご相談ください



受診時の感染予防対策にご協力ください

受診の前には、体温を測定するなど、体調に問題がないことを確認してください。マスクの着用、受診前後の手洗いをしっかりとしましょう。

医療機関や健診会場等で各種対策をお願いすることがあります。その際はご理解とご協力をお願いいたします。



お問い合わせ ▶ 大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)

☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

健康生活 応援グッズ

安心快適な外出を

介助者も利用者も
操作しやすい多機能モデル



●ウエイビットループラス

独自の曲線フレームと様々なサポート構造で、無理のない楽な姿勢で座位を保つことができます。また、操作レバーは力の弱い方でも利用しやすいよう手全体を使う握るレバーになりました。

肘掛・座面・フットサポート調整機能で姿勢をサポートするモジュールタイプ



●ネクストコア・アジャスト

「超スリム」「軽量」「座位の安定・バランス」「移乗のしやすさ」に「更なる座位へのこだわり」を加えた、快適性を追求したハイグレードモデルです。

安全に、高頻度の立位訓練を実現する



●スタンディング・ウィーラー「JOY」SW-1

普通の車いすに見えますが、場所を選ばず安全に起立と立位保持の訓練ができる立位支援機器です。移動支援機器と立位支援機器の機能をワンストップで提供します。

問合せ

公益社団法人
関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894
http://kansil.jp

今月の自助具 車椅子用傘取り付け具

主な適応疾患・対象者▶

- 車椅子利用の方

機能・特徴▶

- 小雨の外出時の雨濡れを最小限にして、快適に過ごせる。
- 市販のビニール傘が使える。

使い方▶

- 車椅子ヘッドレスフレームに傘取り付け具を固定する。
- 雨が降ってきたら傘取り付け具アームを前方に伸ばし、先端に傘の柄を固定する。
- 雨風の方向に合わせて傘の角度を調整できる。(雨が強い場合は別途、膝掛けをする)



資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492
(月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



~ちょっと使いやすい便利なもの~

動画配信型講座自助具製作紹介講座

講師/
特定非営利活動法人
「自助具の部屋」



大阪市社会福祉研修・情報センターの
ホームページ「ウェルおおさか」から
視聴いただけます。

- ①トップページ「研修・講座案内」にあります「講義会・研修レポート」をクリック → ②「講義会・研修レポート」内の「自助具の部屋紹介講座」の内容詳細をクリックして、視聴ページにお進みください。

YouTube から視聴可能

カタチ にする プロ

パンフレットやカタログなど、
作りたいものがカタチにならず困っていませんか?
当社なら企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、各専門スタッフが、
お客様のイメージをトータルでカタチにします。

※詳しくは下記までご連絡ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL: (06) 6358-1010 FAX: (06) 6358-1011 E-mail: info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

福祉職員のメンタルヘルス相談

ひとりで悩まずに
まずはお電話を



相談・予約電話

ハローサンキュー

06-4392-8639

☑k-kanri@shakyo-osaka.jp

予約方法 上記番号へお電話ください。

平日 9時30分~21時 土・日 9時30分~17時

お気軽にご相談ください。秘密厳守

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、対人関係がうまくいかない…など、仕事上のストレスなどから生じる**悩み**の相談窓口です。ご本人だけでなく、同じ職場の上司や同僚の方から相談いただくこともできます。

●対象

大阪市内在住又は市内にお勤めしている福祉職員

●相談方法

電話または来所(まずは、ご予約ください)

●相談日時

毎週土曜日と第1・3水曜日

土曜日の場合は、祝日も実施(年末年始は

休み)いずれも午前9時30分~午後4時

●相談員

臨床心理士

●相談料

相談無料

来所による相談に加え、大阪市内の社会福祉施設への福祉職員対象のメンタルヘルスに関する出張研修を始めました。(追加で個別相談も可能)センターにご相談ください。☎06-4392-8201

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)

図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。 [ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、午前9時30分から午後5時まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を変更しています。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	48	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	16	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	24	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	16	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	8	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	72	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけています。ご了承ください。

交通／ご来所には **【大阪シティバス】** **【JR】** **【地下鉄】** をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大國町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶ **大阪市社会福祉研修・情報センター**
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

〔テーマ〕人権全般

いじめるも 見て見ぬふりも 同じ事

わたなべ ゆうせい
渡邊 悠聖さん(令和2年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 中学生の部 大阪市長賞)